



平成28年11月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成28年10月4日
東

上場会社名 株式会社バイク王&カンパニー 上場取引所
 コード番号 3377 URL http://www.8190.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 石川秋彦
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 コーポレート部門担当 (氏名) 竹内和也 (TEL) 03-6803-8855
 四半期報告書提出予定日 平成28年10月7日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年11月期第3四半期の業績 (平成27年12月1日～平成28年8月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年11月期第3四半期	12,720	△5.0	△461	-	△377	-	△533	-
27年11月期第3四半期	13,387	△6.8	167	127.5	238	27.7	132	60.9
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
28年11月期第3四半期	△38.62		-					
27年11月期第3四半期	9.62		-					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年11月期第3四半期	4,924	3,542	71.9
27年11月期	5,480	4,173	76.1

(参考) 自己資本 28年11月期第3四半期 3,542百万円 27年11月期 4,173百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年11月期	-	5.00	-	5.00	10.00
28年11月期	-	2.00	-	-	-
28年11月期(予想)	-	-	-	2.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年11月期の業績予想 (平成27年12月1日～平成28年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,158	△6.8	△529	-	△438	-	△604	-	△43.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

※詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（会計方針の変更）」をご覧ください。

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

28年11月期3Q	15,315,600株	27年11月期	15,315,600株
28年11月期3Q	1,500,000株	27年11月期	1,500,000株
28年11月期3Q	13,815,600株	27年11月期3Q	13,815,600株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	6
第3四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(セグメント情報等)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(重要な後発事象)	8
4. 補足情報	9
生産、受注及び販売の状況	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における我が国経済は、個人消費が停滞するとともに企業収益の改善に足踏みがみられる一方、雇用・所得環境の改善が続く等、緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、中国をはじめとするアジア諸国や資源国等の景気の下振れや、英国のEU離脱等による海外経済の不確実性の高まりにより、国内景気への影響が懸念される等、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社が属するバイク業界におきましては、国内におけるバイクの新車販売台数は約37万台（平成27年実績、出所：一般社団法人日本自動車工業会）と前年を下回って推移いたしました。また、バイク保有台数は1,148万台（平成27年3月末現在、出所：一般社団法人日本自動車工業会）となり、比較的価値の高い原付二種以上は微増、全体は微減する傾向となりました。

このような市場環境のもとで、当社は、ビジョンとして掲げる「バイクライフの生涯パートナー」の実現に向けて、「当社ビジネスの土台である車輛仕入の最大限の活用」と「小売の販売チャネルの拡充」を基本戦略とする3カ年の中期経営計画（初年度：当事業年度）を策定し、活動してまいりました。

当第3四半期累計期間においては、期初に「バイク王」ブランドを統一し、当事業年度の重点施策である「バイク王の総合力の活用」、「エリアマーケティングの強化」、「人材育成の強化」に引き続き取り組みました。あわせて販売費及び一般管理費の抑制に努めましたが、バイク買取事業の業績が前年同期を下回りました。

以上の結果、売上高12,720,633千円（前年同期比5.0%減）、営業損失461,589千円（前年同期は167,971千円の営業利益）、経常損失377,828千円（前年同期は238,496千円の経常利益）、四半期純損失533,614千円（前年同期は132,925千円の四半期純利益）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

<バイク買取事業>

バイク買取事業に関しては、プロモーション展開を見直したものの、効果が想定を下回ったことによりお申し込みが減少いたしました。また、業務オペレーションの見直しや営業力・現場力の強化に取り組み、平均売上単価は上昇いたしました。仕入原価の抑制に課題が残りました。これらにより、販売台数が前年同期を下回り、また平均売上単価（一台当たりの売上高）は前年同期をやや上回ったものの、平均粗利額（一台当たりの粗利額）は前年同期をやや下回りました。

以上の結果、セグメント間取引消去前の売上高は10,276,342千円（前年同期比7.2%減）、経常損失は676,425千円（前年同期は18,314千円の経常利益）となりました。

<バイク小売事業>

バイク小売事業に関しては、販売台数、平均売上単価、平均粗利額が前年同期をやや上回ったことに加え、販売費及び一般管理費を抑制いたしました。

以上の結果、セグメント間取引消去前の売上高は4,176,151千円（前年同期比6.9%増）、経常利益は287,850千円（前年同期比25.5%増）となりました。

<駐車場事業>

駐車場事業に関しては、前事業年度における不採算事業地の閉鎖による損益への影響が見られました。また、既存事業地の収益力の向上に取り組みました。

以上の結果、セグメント間取引消去前の売上高は579,818千円（前年同期比1.4%減）、経常利益は10,746千円（前年同期は9,251千円の経常損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産は、前事業年度末に比べて532,891千円減少し、3,454,470千円となりました。これは主に、現金及び預金が700,901千円、前払費用や繰延税金資産等の減少により「その他」が172,178千円減少し、商品が278,254千円増加したためであります。固定資産は、前事業年度末に比べて22,915千円減少し、1,470,148千円となりました。これは主に、ソフトウェアの償却等により「無形固定資産」が12,505千円、繰延税金資産等の減少により「投資その他の資産」が8,674千円減少したためであります。

(負債)

流動負債は、前事業年度末に比べて42,633千円増加し、1,082,650千円となりました。これは主に、未払金が48,123千円、賞与引当金が24,502千円、前受金の増加や未払消費税の減少等により「その他」が40,633千円増加し、買掛金が52,037千円減少したためであります。固定負債は、前事業年度末に比べて31,883千円増加し、299,183千円となりました。これは主に、繰延税金負債等の増加により「その他」が34,496千円増加したためであります。

(純資産)

純資産は、前事業年度末に比べて630,324千円減少し、3,542,785千円となりました。これは、利益剰余金が630,324千円減少(株主配当96,709千円、四半期純損失533,614千円)したためであります。

この結果、自己資本比率は上記純資産の減少に加え、負債の増加も影響したことから、前事業年度末に比べて4.2%減少し、71.9%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年11月期の業績予想につきましては、平成28年6月28日付「業績予想の修正および繰延税金資産の取崩しならびに配当予想の修正に関するお知らせ」にて公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

当社は、引き続きバイク買取事業の業績改善に集中し、中期経営計画で掲げた3年後のあるべき姿である「バイクのことならバイク王」を実現できるよう邁進しております。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

法人税法の改正にともない、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第2四半期会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備および構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

当該変更による当第3四半期累計期間の営業損益、経常損益および税引前四半期純損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年11月30日)	当第3四半期会計期間 (平成28年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,265,381	1,564,479
売掛金	60,275	121,504
商品	1,228,376	1,506,630
貯蔵品	7,712	8,420
その他	425,719	253,540
貸倒引当金	△103	△104
流動資産合計	3,987,362	3,454,470
固定資産		
有形固定資産	724,920	723,183
無形固定資産	80,301	67,795
投資その他の資産	687,843	679,169
固定資産合計	1,493,064	1,470,148
資産合計	5,480,426	4,924,619
負債の部		
流動負債		
買掛金	160,715	108,678
短期借入金	100,000	100,000
未払金	364,505	412,628
未払法人税等	53,600	35,977
賞与引当金	-	24,502
その他の引当金	4,845	3,879
その他	356,350	396,983
流動負債合計	1,040,017	1,082,650
固定負債		
資産除去債務	208,101	205,488
その他	59,198	93,694
固定負債合計	267,300	299,183
負債合計	1,307,317	1,381,834
純資産の部		
株主資本		
資本金	590,254	590,254
資本剰余金	609,877	609,877
利益剰余金	3,368,787	2,738,463
自己株式	△395,810	△395,810
株主資本合計	4,173,109	3,542,785
純資産合計	4,173,109	3,542,785
負債純資産合計	5,480,426	4,924,619

（2）四半期損益計算書
第3四半期累計期間

（単位：千円）

	前第3四半期累計期間 （自平成26年12月1日 至平成27年8月31日）	当第3四半期累計期間 （自平成27年12月1日 至平成28年8月31日）
売上高	13,387,319	12,720,633
売上原価	7,053,943	7,107,574
売上総利益	6,333,376	5,613,058
販売費及び一般管理費	6,165,405	6,074,647
営業利益又は営業損失（△）	167,971	△461,589
営業外収益		
受取利息及び配当金	1,352	1,024
クレジット手数料収入	43,317	51,252
その他	29,690	35,607
営業外収益合計	74,359	87,884
営業外費用		
支払利息	2,577	1,677
助成金返還損	-	2,000
その他	1,256	446
営業外費用合計	3,834	4,124
経常利益又は経常損失（△）	238,496	△377,828
特別利益		
固定資産売却益	18	37
特別利益合計	18	37
特別損失		
固定資産売却損	115	-
固定資産除却損	3,748	2,012
減損損失	-	16,123
賃貸借契約解約損	987	2,300
特別損失合計	4,851	20,436
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失（△）	233,664	△398,227
法人税、住民税及び事業税	26,191	40,024
法人税等調整額	74,547	95,363
法人税等合計	100,738	135,387
四半期純利益又は四半期純損失（△）	132,925	△533,614

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第3四半期累計期間（自 平成26年12月1日 至 平成27年8月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	バイク 買取事業	バイク 小売事業	駐車場事業	合計	調整額	四半期 損益計算書 計上額(注)
売上高						
外部顧客への売上高	8,896,713	3,903,307	587,298	13,387,319	—	13,387,319
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,181,050	3,139	540	2,184,729	△2,184,729	—
計	11,077,763	3,906,446	587,838	15,572,049	△2,184,729	13,387,319
セグメント利益又は損失(△)	18,314	229,433	△9,251	238,496	—	238,496

(注) 報告セグメントのセグメント利益又は損失(△)の合計金額は、四半期損益計算書の経常利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期累計期間（自 平成27年12月1日 至 平成28年8月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	バイク 買取事業	バイク 小売事業	駐車場事業	合計	調整額	四半期 損益計算書 計上額(注)
売上高						
外部顧客への売上高	7,967,408	4,173,946	579,278	12,720,633	—	12,720,633
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,308,934	2,205	540	2,311,679	△2,311,679	—
計	10,276,342	4,176,151	579,818	15,032,312	△2,311,679	12,720,633
セグメント利益又は損失(△)	△676,425	287,850	10,746	△377,828	—	△377,828

(注) 報告セグメントのセグメント利益又は損失(△)の合計金額は、四半期損益計算書の経常損失(△)と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「バイク買取事業」セグメントにおいて、営業活動から生ずるキャッシュ・フローが継続してマイナスとなっている、今後の改善が困難と見込まれる事業所等における事業用固定資産について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上いたしました。当該減損損失の計上額は、当第3四半期累計期間においては、「バイク買取事業」セグメントで16,123千円であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

(会計方針の変更)に記載のとおり、法人税法の改正にともない、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備および構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更したため、事業セグメントの減価償却方法を同様に變更しております。

当該変更による当第3四半期累計期間のセグメント損益に与える影響は軽微であります。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

当第3四半期累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(単位：千円)

セグメントの名称	前第3四半期累計期間 (自 平成26年12月1日 至 平成27年8月31日)	当第3四半期累計期間 (自 平成27年12月1日 至 平成28年8月31日)
バイク買取事業	8,896,713	7,967,408
バイク小売事業	3,903,307	4,173,946
駐車場事業	587,298	579,278
合計	13,387,319	12,720,633

(注) 1. セグメント間の取引については相殺消去しております。

2. 当第3四半期累計期間の主な相手先別の販売実績および当該販売実績の総販売実績に対する割合は次のとおりであります。

相手先	前第3四半期累計期間 (自 平成26年12月1日 至 平成27年8月31日)		当第3四半期累計期間 (自 平成27年12月1日 至 平成28年8月31日)		関連するセグメント名
	金額(千円)	割合(%)	金額(千円)	割合(%)	
㈱ジャパンバイク オークション	7,035,553	52.6	6,133,002	48.2	バイク買取事業 バイク小売事業
㈱ビーディーエス	1,399,653	10.5	1,566,007	12.3	バイク買取事業 バイク小売事業

3. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。